

第7回 旭川駅周辺かわまちづくり計画 推進WG

説明資料

令和8年1月20日

(1) 前回WGの振り返り

第6回推進WGの概要

【開催日及び開催場所】 令和7年6月12日（木）18:00～19:30 旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室
 【議事】 昨年度の成果と課題の整理、今年度の活動予定、推進工程の見直し、分科会の設置、今後のスケジュールについて

出席委員名簿（敬称略、五十音順）

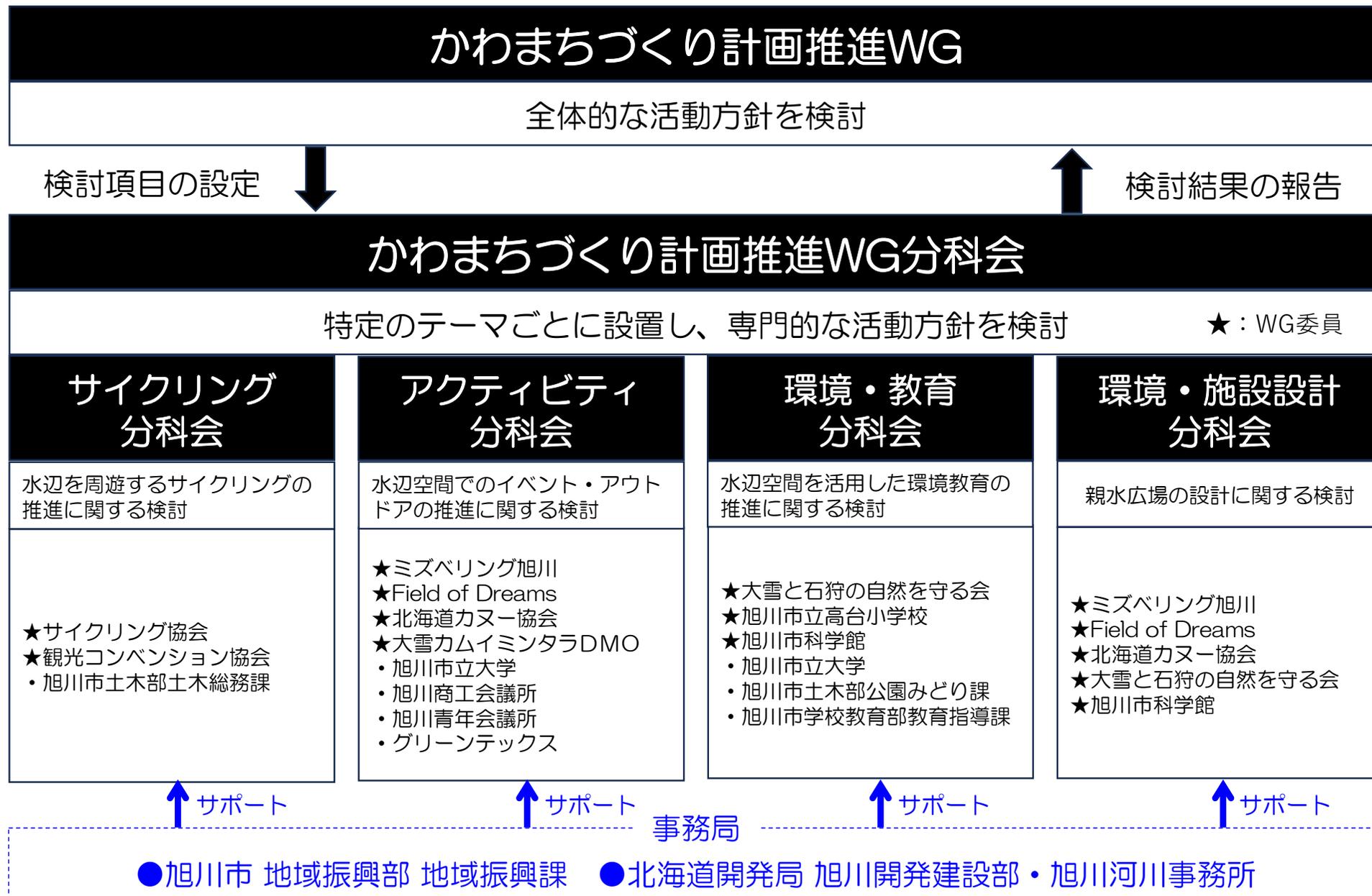
WGでの主な意見

氏名	所属等
荒屋 清美	旭川サイクリング協会
小原 広士	北海道教育大学附属旭川小学校
川辺 英行	旭川市科学館
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
鈴川 雄太	（一社）旭川観光コンベンション協会
寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
馬場 仁志	北海道カヌー協会
オブザーバー	日本釣振興会北海道地区支部 山田氏
	北海道アクティビティオーガナイズーション 小瀬氏
	旭川市土木部土木総務課
	旭川市土木部公園みどり課
	旭川市学校教育部教育指導課 旭川市立大学 等
事務局	旭川市地域振興部地域振興課
	旭川開発建設部治水課・旭川河川事務所

議題	主な意見
かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> カヌー等のパドルスポーツに適した瀬と淵を作ってほしい。また、そこへ車が乗り入れできるようにしてほしい。 ゴミ問題、植生の踏み荒らし、野生動物に対する影響等、様々な問題に係る具体的な取り組みや仕組みを計画に是非盛り込んでほしい。 親水護岸予定箇所で見つかったハルニシ等の大きな樹木は将来母樹になるので、そういった木は意識して残していかないといけない。 総合的な学習の時間とかわまちづくりをどう融合していくか。 子どもたちが旭川に愛着を持ち、この町で何かやりたいと思えるように人材育成もひとつの視点として計画に入れていただけたらと思う。 市民が水辺に接するための親水広場の必要性に疑問。野生のサケが自然再生産できる川の環境を守りたい。
分科会	<ul style="list-style-type: none"> 分科会である程度理想を上げてもらい、それがマネジメントチームに上がって、実際どういうスキームなら実現するかまでいきたい。 駅裏のスロープを誰が使うのかといった話もあるので、予備知識として、現地視察での議論等をきちんと共有された方がいい。 環境と教育は繋がっていて、現場の環境をどう考えるのかを抜いてしまうと、環境教育が少し薄いものになってしまう可能性がある。 どうしても利用的な側面に傾斜してしまう可能性が非常に強いので、環境とのバランスを検討ができる仕組みが必要だと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 流水にかかる工事があるのであれば産卵床を示してほしいと確認したと思うが、今回そういった図面が示されていない。 ツインハーブ上流に、水制工等の砂利を止めるための仕組みになるようなものを置くのであれば、現地で打ち合わせをすればいい。

分科会の設置について

より専門的な視点から検討を行うため、令和7年6月12日付で計画推進WG規定を改正し、WGの下部組織として分科会を設置した。



(2) 分科会の実施報告

① 環境・施設設計分科会

旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング

第1回 環境・施設設計分科会 開催概要

【開催日・場所】 令和7年9月19日（金）10:00～12:00 旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室
 【議事】 ①親水施設に関するWGでの主な意見と対応方針、②ツインハープ橋上流箇所の施工状況、③神楽岡公園箇所の修正設計、④JR旭川駅南口箇所の設計ワークショップ

分科会出席者

佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
億貞 拓磨	Field of Dreams
馬場 仁志	北海道カヌー協会
川辺 英行	旭川市科学館
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課
	旭川開発建設部 治水課・旭川河川事務所

分科会の状況



事務局から、これまでのWGでの意見と対応方針を説明



ワークショップを行い、JR旭川駅南口親水広場の理想像を共有

ワークショップで得られたJR旭川駅南口の親水広場の整備イメージ



理想像として共有したイメージ図を基に、今後具体的な設計を進めていきます

箇所 分科会での主な意見

ツインハープ橋上流	<ul style="list-style-type: none"> 堤内側の取付道路の勾配が急で、乗用車で上がると先が見えず危ない 堤内側の取付道路の幅員等を確認し、バスが入れるように拡幅するなり路肩を作るなりを考えてほしい
神楽岡公園	<ul style="list-style-type: none"> ツインハープ橋上流に造成されたエディのイメージで、現況のエディ箇所をカヌーまたはラフトボートが発着できるサイズ感で円形に掘削すると良い
JR旭川駅南口	<ul style="list-style-type: none"> 座って眺める、階段でもありベンチでもあるような景色が出てくると非常に良い 定規を使って引いたような直線的な整備は止めた方が良い 右岸側に水を走らせて、掘らないで自然の力や動きに任せるのも良いかも知れない 右岸側に流れを切り替えた後も、左岸側に少しでも水が流れるようにすべき

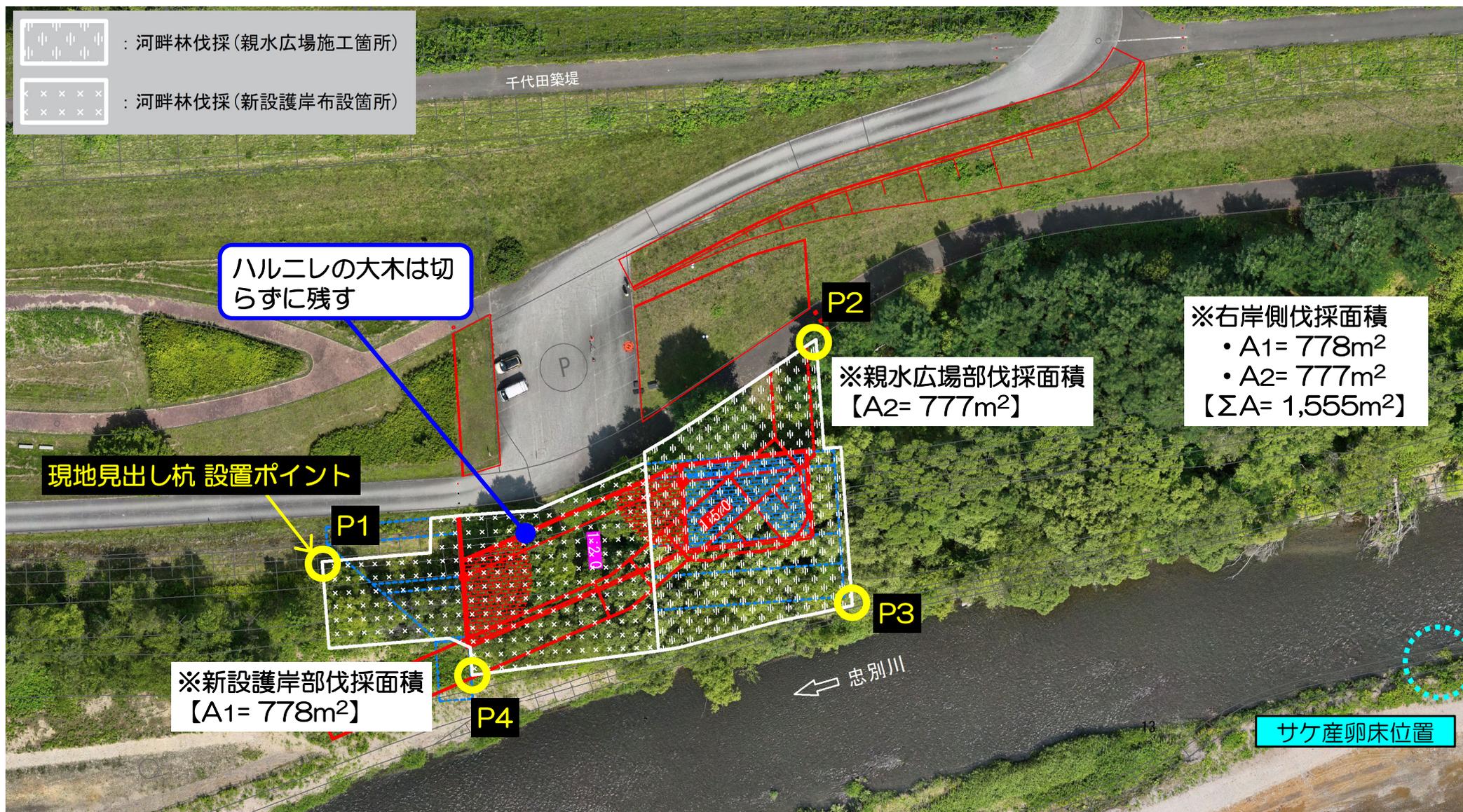
親水施設に関するWGでの主な意見と対応方針(1)

No.	意見	対応案
【ツインハープ橋上流箇所】		
1	<ul style="list-style-type: none">伐採範囲内にあるハルニレの大木2本は残せるように検討してほしい。 (第6回WG現地)	<ul style="list-style-type: none">護岸線形を見直し、存置する方向で現地対応したい。
2	<ul style="list-style-type: none">カヌー乗り場にエディを創出してほしい。河岸のアンジュレーションは最低限付けて、そこに根固めブロックや自然石を置くとさらに良い。 (第6回WG現地)	<ul style="list-style-type: none">親水広場端部にエディを造成し、エディ上流部には根固めブロックを配置することで、水の流れに変化をつけた。

ツインハープ橋上流 これまでの意見への対応方針

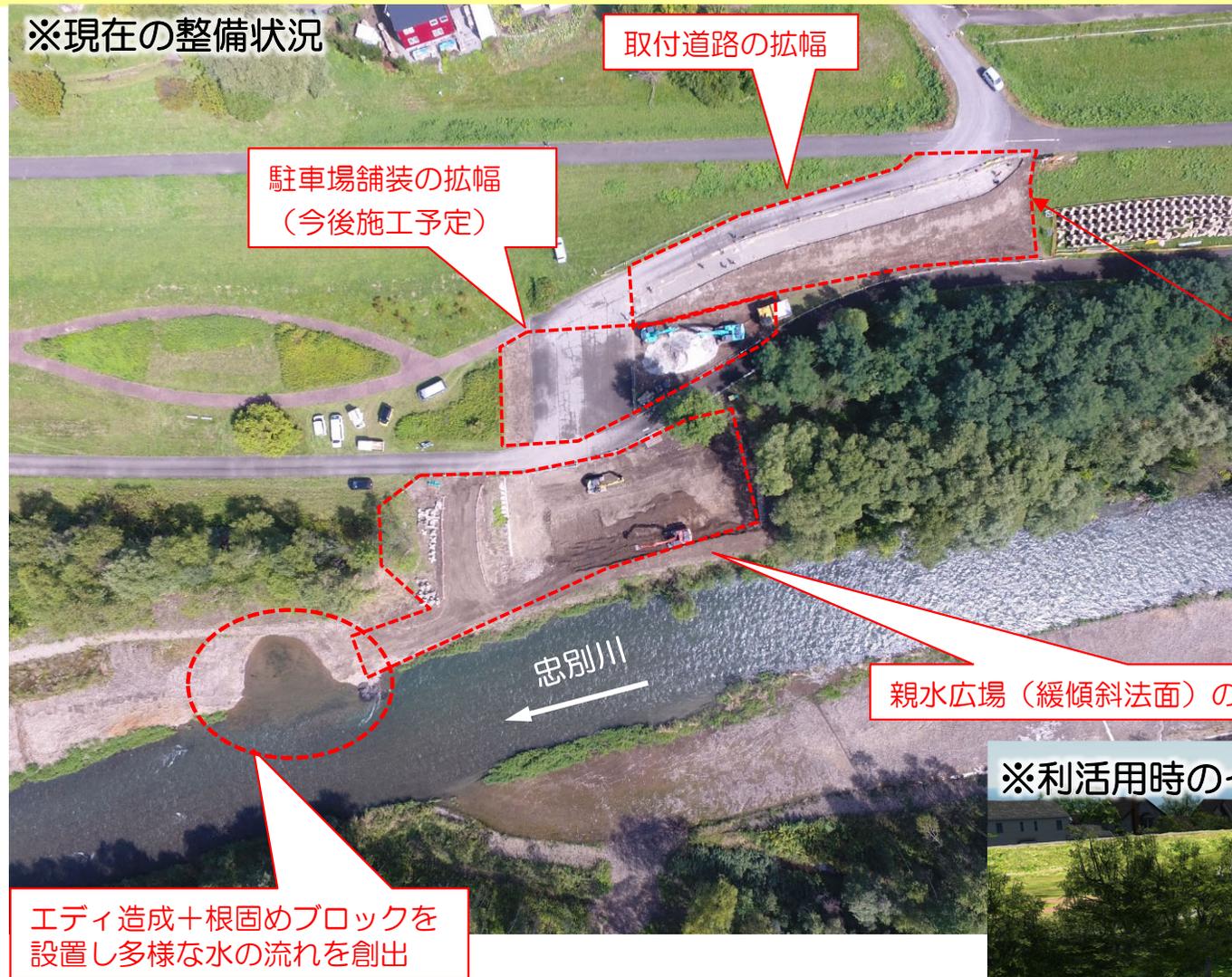
◆親水広場整備に伴う樹木伐採について

- 伐採範囲（面積）は、図示のとおり「 $\Sigma A = 1,555\text{m}^2$ 」となる
- 6月12日に現地で確認したハルニシの大木は切らずに残すように現地対応



ツインハーブ橋上流 整備状況(全体)

※現在の整備状況



取付道路拡幅状況

※利活用時のイメージ



親水施設に関するWGでの主な意見と対応方針(2)

No.	意見	対応案
【神楽岡公園箇所】		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 右岸の河道整正を行うと流れが変わり、下流の産卵床影響する可能性があるため、いじってほしくない。 (第4回WG) ・ 右岸側の伐採と河道整正は産卵床に悪影響を及ぼす恐れがあるので保留にしてほしい。 (第5回WG) ・ 右岸側の掘削は本当に必要なのか。 (第6回WG現地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 右岸側の工事は保留し、左岸側の整正が終わった後に様子を見て、流れが速く親水施設として安全に利用できない状況なら右岸にも手を加える方針に変更する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 右岸側の掘削はカヌー発着時の安全のため、流速低減を目的としている。 (第6回WG現地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親水広場整備箇所の左岸側直上流には既設の水制工が埋まっており、水制間の堆積土を除去することで河岸に引き込み部ができるので、カヌー発着場所に緩やかな流れを作れないか検討する。

神楽岡公園 これまでの意見への対応

◆左岸側の親水広場整備と右岸側の河道整正について

右岸側の工事は保留にし、左岸側の整正が終わった後に様子を見て、流れが速く親水施設として安全に利用できない状況なら右岸にも手を加える方針に変更する。

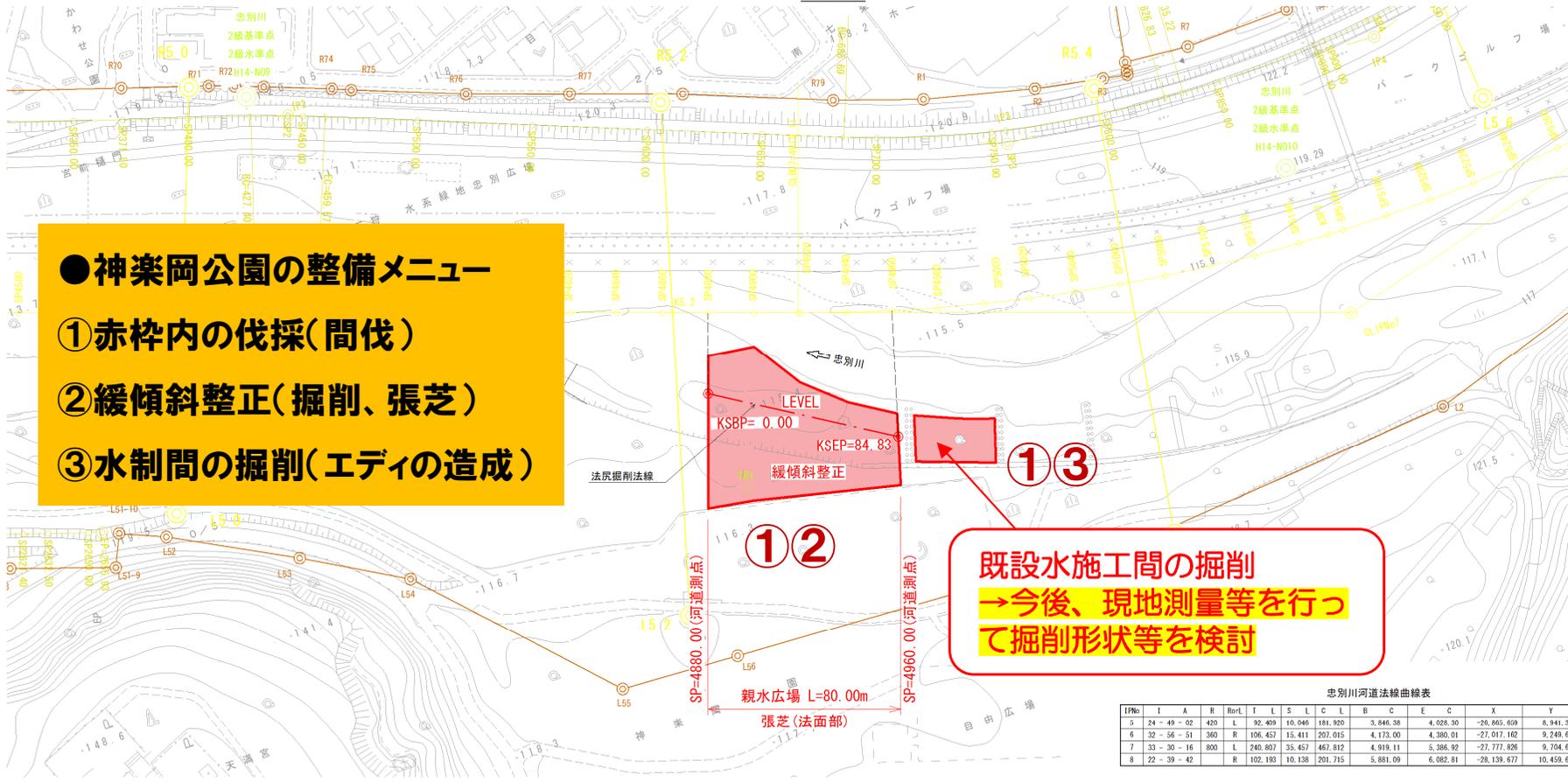
水制間の堆積土を除去することで、カヌー発着場所に緩やかな流れをつくれぬか検討する。



神楽岡公園 左岸親水広場計画図

左岸親水広場計画図

平面図 S=1:1000



- 神楽岡公園の整備メニュー
- ① 赤枠内の伐採(間伐)
- ② 緩傾斜整形(掘削、張芝)
- ③ 水制間の掘削(エディの造成)

既設水施工間の掘削
→ 今後、現地測量等を行って掘削形状等を検討

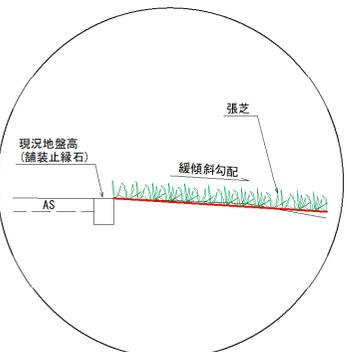
忠別川河道法線曲線表

TPNo	I	A	R	RorL	T	L	S	L	C	L	B	C	E	C	X	Y	備考
5	24	-49	-02	420	L	92.409	10.040	181.920			3,846.38		4,028.30		-26,865.609	8,944.327	
6	32	-56	-51	360	R	106.457	15.411	207.015			4,173.00		4,380.01		-27,017.162	9,249.681	RSEP=4745.00
7	33	-30	-16	800	L	240.807	35.457	467.912			4,919.11		5,386.92		-27,777.826	9,704.680	RSEP=5000.00
8	22	-39	-42		R	102.193	10.138	201.715			5,881.09		6,082.81		-26,139.677	10,456.606	

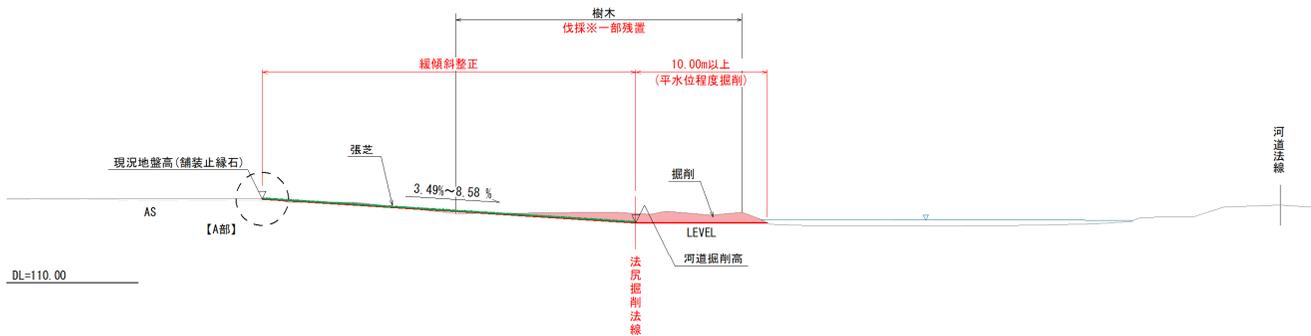
親水広場法尻掘削法線曲線表

TPNo	I	A	R	RorL	T	L	S	L	C	L	B	C	E	C	X	Y	備考
KSBP													0.000		-27,555.608	9,530.892	
KSEP													84.828		-27,636.161	9,557.460	

【A部】拡大図



標準断面図 S=1:200
SP=4940.00



世界測地系対応版
忠別川右岸 KP5.0上流地区

工事名	石狩川上流 環境整備事業設計業務
図面名	左岸親水広場計画図
作成年月日	令和7年3月
縮尺	図面番号 22-14
会社名	株式会社 エコテック
事業者名	旭川開発建設部

親水施設に関するWGでの主な意見と対応方針(3)

No.	意見	対応案
【JR 旭川駅南口箇所】		
1	<ul style="list-style-type: none"> 水際に水制（玉石で良い）を50mよりも短い間隔で置くことでエディができる。これにより反転流が生まれ、川に落ちても流されにくいなど安全性が高まる。(第4回WG) 護岸の形式は単調なデザインより変化に富んだ複合的なデザインがいい。(護岸の形式は全部一連で同じ施工になるとつまらない。ロック感がもう少しほしい。)(第4回WG) 水際の水制工は、水中に入れて水面から出さなければ危険にはならない。もともと水制工は河岸の洗掘を防止する役割があるので、この広場を守るものにもなる。(第5回WG) 親水広場の河岸がまっすぐだとカヌーが止まれない。エディができると良い。礫を入れれば水生昆虫の棲処にもなる。(第6回WG現地) 	<ul style="list-style-type: none"> 水際部は大粒径の自然石等により被覆して盛土を流水から保護するとともに、水制状の出っ張りを適当な間隔で設けるなど、水際に入出入りをつけるような施設を検討する。 盛土法面の芝生の部分は起伏のある立体的な斜面を創造し、部分的に樹木や自然石を配して景観に変化を付けることなどを検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 左岸側の現河道は埋めないでほしい。水の流れを右岸に切り替えたいなら、水制なり根固めブロック等を氷点橋の下流あたりに置いて、水を駅の方（右岸側）に導くようなことを検討してほしい。(第5回WG) 	<ul style="list-style-type: none"> 左岸側の現河道は呑口部に手当てをして右岸側に水の流れを向けるようにする以外は手を加えず、水路自体は埋めずに残す。
3	<ul style="list-style-type: none"> 右岸側に車が入れない状態でカヌーやラフトを上げたとしても積み下ろしできず発着場としては使えない。左岸側に自動車が入られる道路や駐車場の整備が可能なのか。(第4回WG) 	<ul style="list-style-type: none"> 対応方針について、アクティビティ分科会の議論等も踏まえて検討する。

旭川駅南口 これまでの意見への対応方針

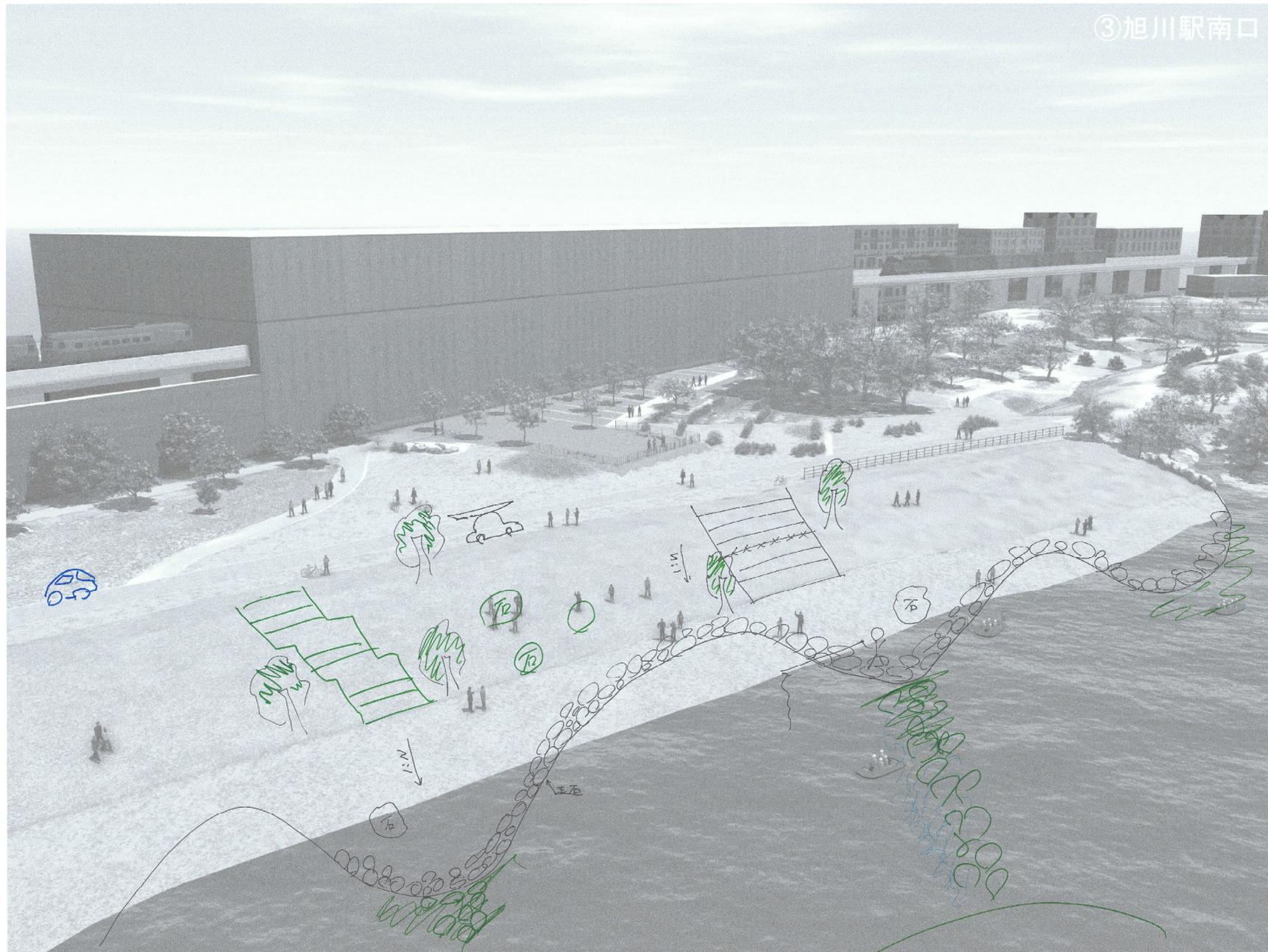
◆サケ産卵床への配慮について

左岸側の現河道は呑口部に手当てをして、右岸側に水の流れを向けるようにする以外は手を加えず、水路自体は埋めずに残す。



旭川駅南口 イメージ図

ワークショップで得られたJR旭川駅南口の親水広場の整備イメージ



旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング

第2回 環境・施設設計分科会 開催概要

【開催日・場所】 令和7年12月3日（水） 13:30～15:00 旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室
 【議事】 ①前回分科会の振り返り、②牛朱別川側帯の施工状況、③ツインハープ橋上流箇所を取付道路、④神楽岡公園箇所の修正設計、⑤JR旭川駅南口の修正設計

分科会出席者

佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
寺島 一男	大雪と石狩の自然を守る会
億貞 拓磨	Field of Dreams
馬場 仁志	北海道力ヌー協会
川辺 英行	旭川市科学館
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課
	旭川開発建設部 治水課・旭川河川事務所

分科会の状況



事務局から、前回分科会での意見への対応案を説明

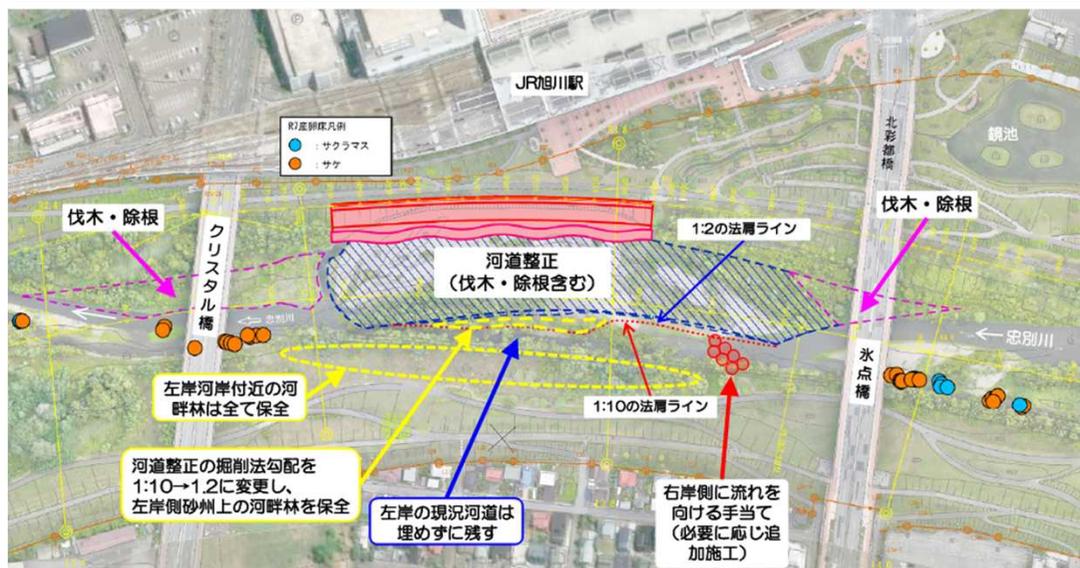


親水広場の設計内容に対する修正点を議論

箇所 分科会での主な意見

牛朱別川側帯	<ul style="list-style-type: none"> この場所がサイクリングの駐輪・休憩スペースだと分かるように、サイン（看板）の設置を検討して欲しい
ツインハープ橋上流	<ul style="list-style-type: none"> この場所にもサインがあると利用者に分かりやすい 車の乗り入れなど利用の手引きのような注意書きも必要
JR旭川駅南口	<ul style="list-style-type: none"> 水際の練石は、インブリケーション（覆瓦状構造～瓦のように積み重なり力学的に安定する構造）を意識して石を積んでほしい 練石のアンジュレーションは、サインカーブよりも先端を尖らせた波形が良い 擬木や擬石など、場所により違うタイプのベンチを配してほしい 河道掘削法線が左岸側に寄ってるので、あと10m右岸側に寄せるような変更ができれば、もう少し左岸を保全できると思う 川はできるだけ蛇行していた方が良く、河道整正の上下流（紫色点線の範囲）を伐木・除根すると、水が被った場合に土砂が移動して、産卵床がなくなってしまう可能性があるため配慮が必要 河道掘削と産卵床の経年的な関係を定量的に整理して、次回の分科会で提示してほしい

事務局から提示したJR旭川駅南口の親水広場の設計平面図



第2回分科会でのご意見は施設設計に反映し、次回の分科会で提示します

牛朱別川 側帯の整備状況

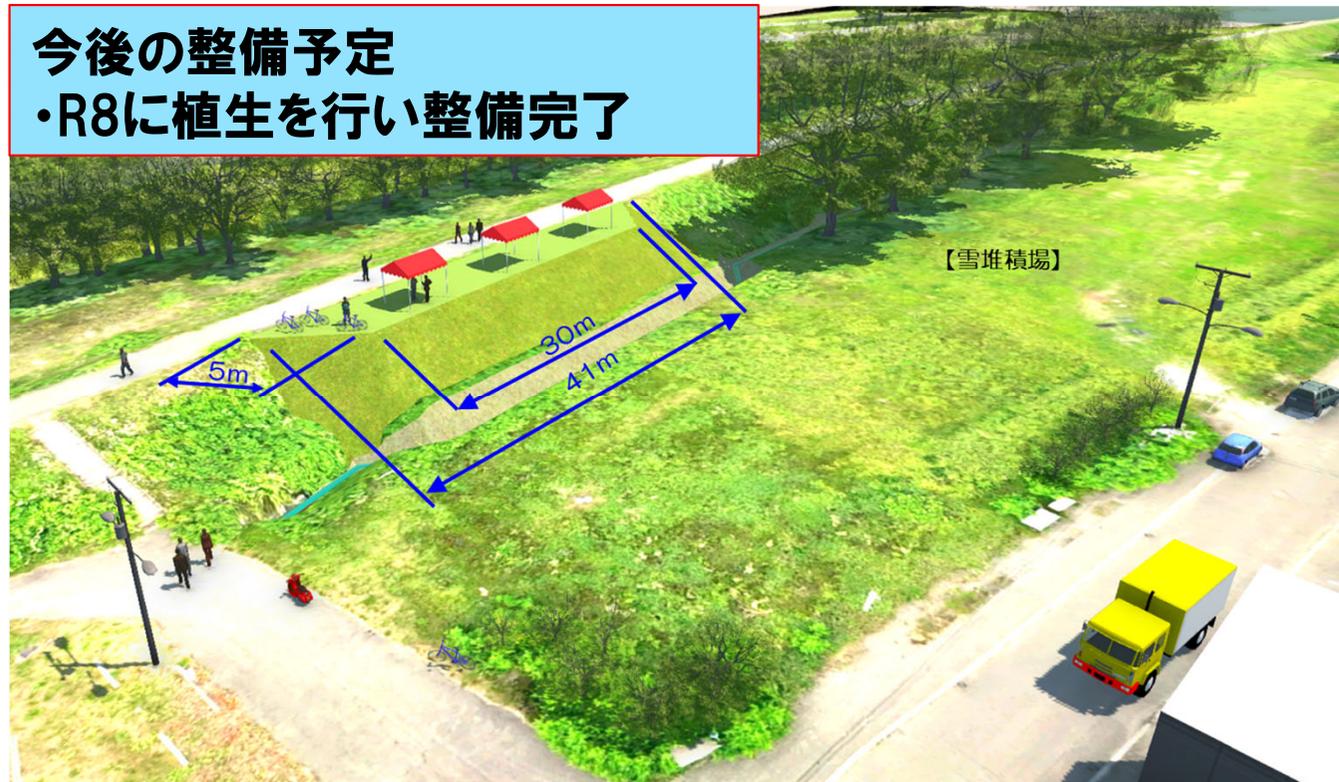
R7の整備状況

・側帯工の盛土が完了



今後の整備予定

・R8に植生を行い整備完了



第1回分科会での主な意見と対応案(1)

No.	意見	対応案
【ツインハープ橋上流箇所】		
1	<ul style="list-style-type: none"> 堤内側の取付道路の勾配が急で、乗用車で上がると先が見えず危ない 	<p>【提案】 下記に示すとおり、堤内地側の道路拡幅は制約条件が多く難しい状況であることから、代替案として堤防天端にミラーを設置し安全対策を講じる計画としたい</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 堤内側の取付道路の幅員等を確認し、バスが入れるように拡幅するなり路肩を作るなりを考えてほしい 	<p>【提案】 堤内側の拡幅について、既設市道との接続線形や河川敷地の状況を確認した結果、拡幅を行うためには新たに用地買収の必要性が生じる点や擦付形状の複雑性等により、拡幅が困難であることから、代替案として堤防天端にミラーを設置し、安全対策を講じる計画としたい</p>

ツインハーブ橋上流 整備状況

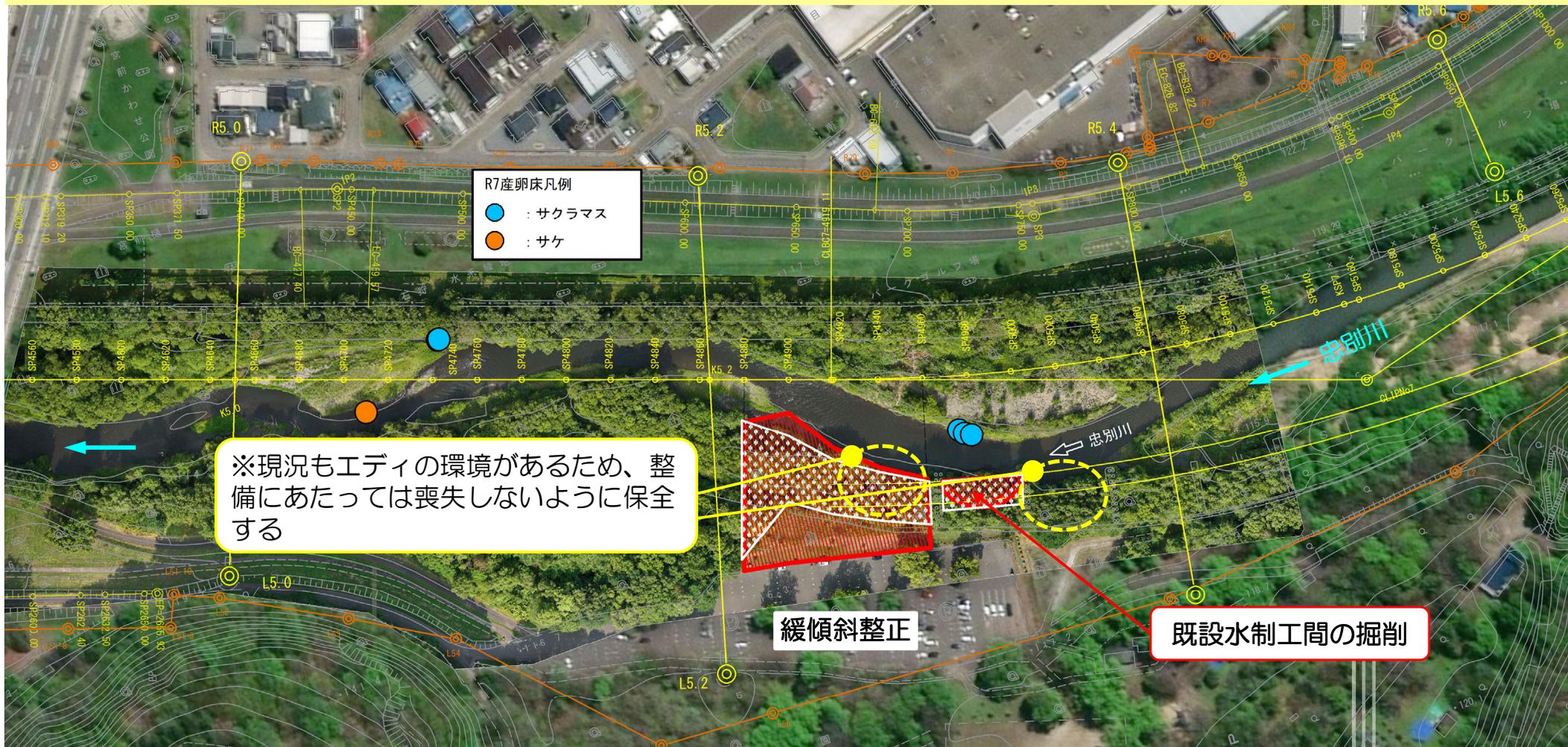
※現在の整備状況



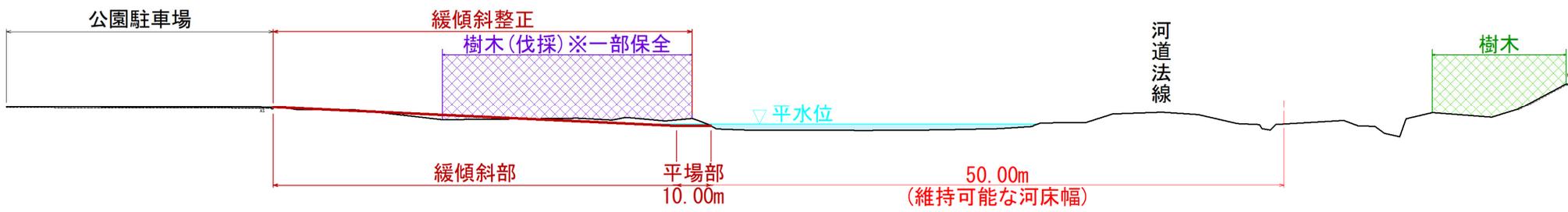
第1回分科会での主な意見と対応案(2)

No.	意見	対応案
【神楽岡公園箇所】		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・左岸側に昔整備された水制があるので、そこを掘削してエディをもう少し作ってほしい 	<p>【提案】 既設水制工間の掘削を行う。 掘削断面はツインハーブ橋上流箇所と同様、すり鉢状の形状としたい</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ツインハーブ橋付近に造成されたエディのイメージで、現状のエディをカーヌーまたはラフトボートが発着できるようなサイズ感にして、少し円形に掘削するなどするだけで全然いいと思う 	<p>【提案】 既存エディ近傍には、No.9とNo.12のシロヤナギが大径木で生育していることから保全が必要と考えられるため、当該箇所の河道整正等を行わず、現状を維持する計画としたい （代替案として、上流側の既設水制工間を掘削）</p>

神楽岡公園 親水広場の整備内容



◆代表断面図



第1回分科会での主な意見と対応案(3)

No.	意見	対応案
【JR 旭川駅南口箇所】		
1 親水広場	①左岸もそうだが、右岸もカヌー等の発着ができるようにしたい	【提案】 平面的に水際に出入りをつける形状を検討 【分科会で確認】 左岸側のカヌー発着方法等について協議
	②JR旭川駅に集まってくる人が水際に近づけるようにしたいし、自転車やアクティビティの発着としても使えるような機能を持たせたいので、緩傾斜は絶対外せない	【提案】 緩傾斜法面で検討済み
	③買い物公園からJR旭川駅を通過して外に出た時に忠別川が目の前に見える場所なので、もう少しこういうのが見たいというものを創出したい	【分科会で確認】 具体的に何が見たいかについて協議
	④滑らかなサインカーブでなくていいが、定規を使って引いたような直線的な整備は止めた方がいい	【提案】 平面的に水際に出入りをつける形状を検討
	⑤洗掘のスピードを緩めて時間稼ぎするという意味でも、水際を玉石である程度形成して、表面は削れてもいい前提で10～20cmは土砂でもいいかもしれない	【提案】 水際部は寄せ石により被覆、空積みの場合φ1000mm程度のものが必要となるため、通路も含めた覆土のり面保護の観点から練積みとしたい
	⑥法面に石っぽい階段が少しあるとそこに腰掛けて休めるし、横に木があって日陰ができるような場所があるといい	【提案】 緩傾斜法面部に3箇所（擬木）、水際部に2箇所（擬石、ステップの異なる2種類）階段設置を検討
	⑦座って眺める、階段でもありベンチでもあるような景色が出てくると、非常にいい	【提案】 テラス部にベンチの設置を検討
	⑧整備箇所の前後で景観的に差が出てくるので、既存の階段のように意匠はしない方がいい	【分科会で確認】 具体的にどんな階段とするかについて協議
	⑨階段でいきなり水の中ではなくて、途中まで階段があってちょっと遊ぶスペース、平場があって、前後が芝や木が生えている方がいい	【提案】 緩傾斜法面部に階段設置、通路・テラス部で張芝の遊ぶスペース（植樹あり）を検討
	⑩機能的・デザイン的にもいい場所でないという意味がないので、こういうところに座ってみたい、こういうところで休んでみたいといった感覚がすごく必要だと思う	【分科会で確認】 具体的にどんな階段、ベンチとするかについて協議
	⑪豊平川にあるように、2種類の階段のようにになっているのがいい	【提案】 水際部に2箇所（擬石、ステップの異なる2種類）階段設置を検討

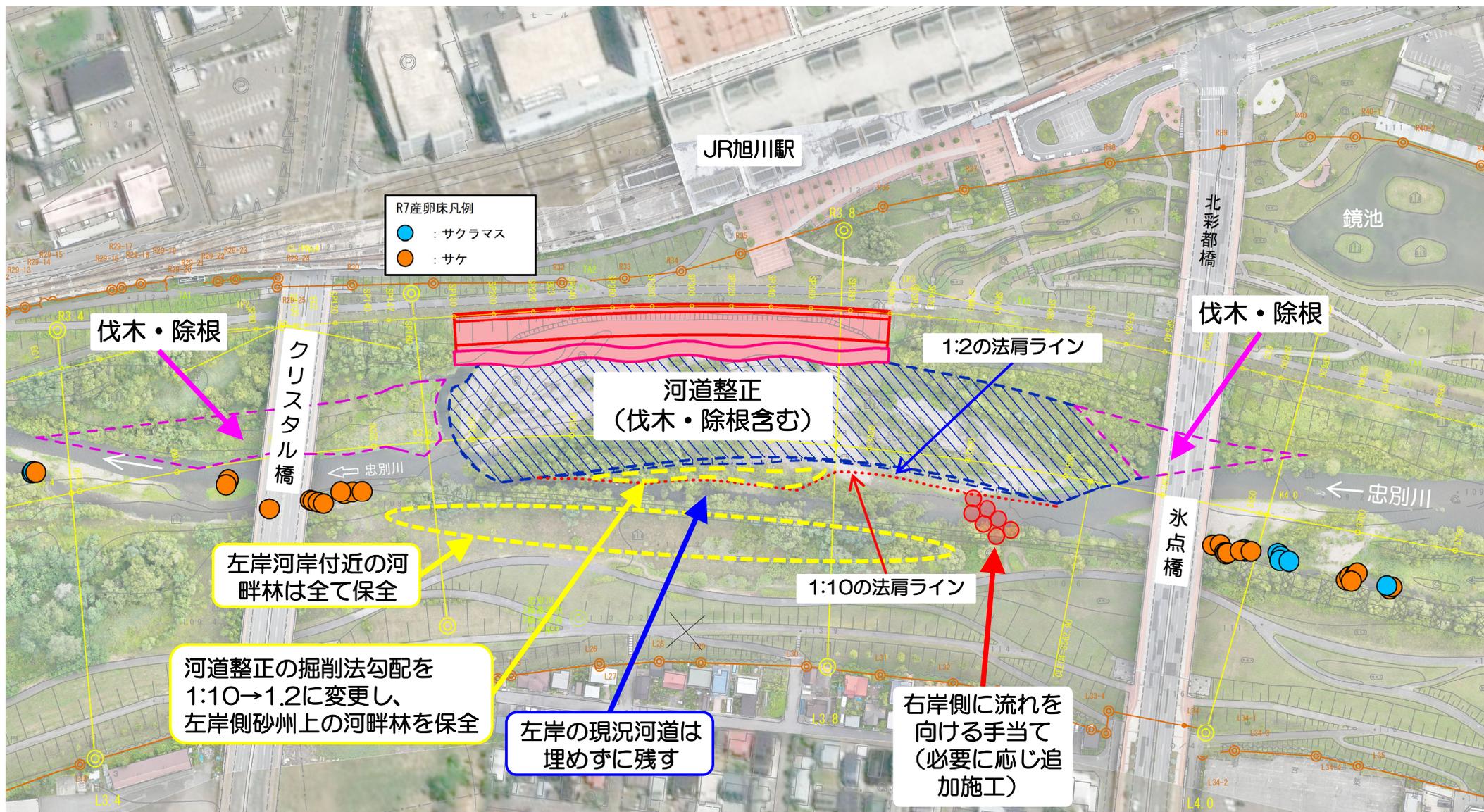
第1回分科会での主な意見と対応案(4)

No.	意見	対応案
【JR 旭川駅南口箇所】		
2 河 道 整 正	①サケの遡上を考えると左岸側が大事なので、あまり川幅を狭めないで、今想定している整備ラインの内側の方で、周辺全体の流れを考えながら形状を作っていくべきだと思う	【提案】 質的整備ワーキングで検討し大正橋上流で整備手法（維持可能な敷幅50m）で右岸側の河道整正を、親水広場整備と併せて実施したい
	②左岸側はかなり深掘れしているので、元の根固めぐらいまで玉砂利で埋めて、この辺りに産卵床が見つかってほしいという思いで作ればいい	【提案】 整備後のモニタリングで、左岸側の現河道が維持されるか否かを監視し、必要に応じ呑口部に手当てをして右岸側に水の流れを向けるような追加施工を行うこととしたい
	③大事なことは、どうしても左岸側に産卵床を誘導するのはなくて、整備区間のどこかにちゃんと産卵床ができるような環境がほしいということである	【提案】 整備後のモニタリングで、左岸側の現河道が維持されるか否かを監視し、必要に応じ呑口部に手当てをして右岸側に水の流れを向けるような追加施工を行うこととしたい
	④5年間の整備期間である程度きっかけを作って水を流してもすぐに変化しないと思うので、その後の5年間のモニタリング期間で、お金の仕組みも含めてみんなで知恵を出しあう	【分科会で確認】 維持管理等の仕組みについて協議

旭川駅南口 親水広場の整備

② 整備方針

- ・ 親水広場の整備と併せ、右岸側の河道整正を行い、水の流れを右岸側に向けるようにしたい
- ・ その後のモニタリングで、左岸側の現河道の状況（維持されるか否か）を監視し、必要に応じ呑口部に手当てをして右岸側に水の流れを向けるような追加施工を行うこととしたい



② サイクリング分科会

旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング 第1回 サイクリング分科会（試走会）

開催概要

【開催日】令和7年10月2日（木）10:00～12:00

コース：旭川駅～永隆橋通～牛朱別川路面標示始点～牛朱別川路面標示終点

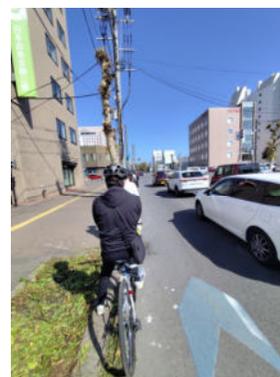
分科会出席者

荒屋 清美（分科会長）	
賀来 淳二	旭川サイクリング協会
荒関 良悦	
有馬 準	旭川観光コンベンション協会
金子 幸代	旭川観光物産情報センター
渡邊 誠治	アクティビティセンター旭川駅
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
オブザーバー	旭川市 土木部 土木総務課 藤 晃嘉、古川 修宇
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課 旭川開発建設部 治水課・旭川河川事務所

分科会（試走会）の状況



走行ルート図



旭川市駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング

第2回 サイクリング分科会 開催概要

【開催日・場所】 令和7年11月19日（水）9:30～10:45 旭川市役所 総合庁舎7階 会議室7F

【議事】 ①第1回サイクリング分科会（試走）、②サイクリングマップ、③サイクルステーション、④案内看板、⑤サイクリング事業、⑥その他

分科会出席者

荒屋 清美（分科会長）	旭川サイクリング協会
鈴川 雄太	旭川観光コンベンション協会
有馬 準	
佐藤 勉（座長）	ミズベリング旭川
オブザーバー	旭川市 土木部 土木総務課 藤 晃嘉、古川 修宇
事務局	旭川市 地域振興部 地域振興課
	旭川開発建設部 治水課・旭川河川事務所

分科会の状況



議事

分科会での主な意見

①

- ・コース上鬱蒼としていた箇所については、分科会で要望があれば伐採等対応したい。
- ・コースの片道利用は、自転車の回収、管理、輸送が必要で人的、コスト的に現状では難しい。

②

- ・まず市民を対象に、現状のマップを有効活用する、グレードアップする等を検討。

③

- ・パークゴルフ場にラックの設置管理を依頼するのはどうか。
- ・サイクルショップと連携して設置を検討するのはどうか。
- ・ラックは試行ということでDIYの簡易的なものでもよく、まずは設置し、検証してはどうか。

④

- ・駅南口は、サイクリングの起点、終点要素だけではなく、かわまち計画の起点でもあり、それを踏まえた旭川を象徴するモニュメントがあってもよい。
- ・情報はQRコードで表記し、見た目を重視した方が面白い。

⑤

- ・分科会で自前で新たな事業を行うのは厳しいのではないか。
- ・方向性としては、既存事業との連携やサイクリングコースを周知するような事業の実施を検討。

⑥

- ・かわまち計画について、自転車業組合を通してサイクルショップに知ってもらい、市内のショップと協力、連携して取り組むのはどうか。
- ・次年度から組合にも分科会に出席してもらい、意見をもらってはどうか。

(3) 各事業の報告

令和7年度の事業について

事業名	事業内容	実施時期	実施主体	実施場所
「あさひかわ子どもの水辺」サケの稚魚放流	サケの生態説明、サケの稚魚放流	4/12	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	
科学館クラブ(いきもの地球クラブ)	ウグイ・フクドジョウなどの捕獲と観察	5/24, 25	旭川市科学館	忠別川(神楽橋付近)
野外活動「河原で石拾い」	様々な種類の転石を拾って観察	5/31	旭川市科学館	雨粉川(雨粉橋付近)
地学体験バスツアー	「神居古潭藍穴群」「魔人の頭」などの見学	6/1	旭川市科学館	石狩川(神居大橋付近)
科学館クラブ(いきもの地球クラブ)	トンボの幼虫「ヤゴ」の捕獲と観察	6/7, 8	旭川市科学館	伊野川支流(カムイの杜公園付近)
「あさひかわ子どもの水辺」水辺体験講習会	安全講習、川の生き物観察	6/14	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	カムイの杜公園近くの伊野川
まちなかアクティビティinADW	北彩都ガーデン鏡池周辺でのアクティビティ(カヌー、SUP、乗馬、ボディコンバット、e-bikeレンタル、ワークショップ等)	6/21, 22	大雪カムイミタラDMO	あさひかわ北彩都ガーデン
「あさひかわ子どもの水辺」観水体験イベント 『川に学ぼう』	川下り、安全講習、川の生き物観察、防災講座	6/28	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	旭橋下流左岸広場
かわまちフェス	音楽・ダンスフェス、フードトラック、水辺で乾杯	7/5	ミズベリング旭川	旭川駅南口及び北彩都ガーデン
「あさひかわ子どもの水辺」 川の指導者育成学習会	川下り、安全講習	7/12	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	旭橋下流左岸広場ほか
野外活動「水辺の生きもの観察」	水生昆虫の観察	7/12	旭川市科学館	忠別川(神楽橋付近)
第3回100kmサイクリングin旭川 併設開催 第69回全国サイクリング大会、第63回全道 サイクリング大会	かわのまち旭川を走ろう(忠別川、忠別ダム、永山新川、石狩川、北彩都をめぐるサイクリング)	7/27	旭川サイクリング協会 共催:日本サイクリング協会、北海道サイクリング協会	旭川市リベライパーク・コミュニティランド(旭橋左岸公園 駐車場)
サケ案内人養成講座	座学講座	8月	大雪と石狩の自然を守る会	神楽公民館他
「あさひかわ子どもの水辺」 石ころアート体験	河原の石にペイント	8月中旬	あさひかわ子どもの水辺協議会 (事務局:旭川市土木部公園みどり課)	カムイの杜公園近くの伊野川(予定)
サケを迎える(カムイチュブノミ)	伝統儀式	9月	大雪と石狩の自然を守る会	旭橋下流左岸(R6実施場所)
第17回旭川ハーフマラソン	ハーフマラソン、10kmコース、2.5kmコースを実施	9/28	市	大雪アリーナ(スタート&ゴール)
野外活動「旭川層の観察」	河床の砂礫層「旭川層」を観察	10月中旬	旭川市科学館	石狩川(秋月橋付近)
野外活動「シロザケの産卵行動」	シロザケの産卵行動を観察	10月中旬	旭川市科学館	忠別川(未定)
サケのゆりかごづくり(人工産卵床づくり)・ 発卵眼埋設	サケの産卵床づくり	11, 12月	大雪と石狩の自然を守る会	
野外活動「冬の自然観察」	スノーシューで忠別川沿いを散策	1/24	旭川市科学館	忠別川(神楽橋～富良野線高架付近)
北彩都歩くスキーコース	歩くスキーコースの設置	1月中旬～3月中旬	市	北彩都
サケ出発式(カムイノミ)	サケの稚魚放流	3月	大雪と石狩の自然を守る会	旭橋下流左岸(R6実施場所)
旭川観光レンタサイクル	自転車のレンタル(シティサイクル、クロスバイク、電動アシスト自転車等)	4/29～10/31	旭川観光物産情報センター (アクティビティセンター旭川駅)	
川のまち旭川 歴史探索マップ	旭川駅周辺、旭川空港周辺の川のまちマップ(データ提供) https://www.atca.jp/kawanomachi/	通年	旭川観光コンベンション協会	

(4) 重点的な活動方針に対する状況・予定

令和7年度における重点的な活動方針(1)

項目	概要	対応
サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> ◆サイクリングマップの公開と活用 ◆サイクルステーションの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連施設にサイクリングマップを掲示する →アンケート結果から、観光物産情報センター、旭山動物園、旭川空港、道の駅等に相談、選定する ・見どころのテーマを変えたマップを作成する →現時点では既存のマップを活用 ・サイクリングコース上にサイクルラックや空気入れ等を試行的に設置する →旭川自転車業組合と相談、場所の選定、ラックの仕様を検討する ・アンケートフォームによるサイクルステーションのニーズや効果の検証を行う →アンケート項目を検討する
アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆イベント・アウトドアの企画と実施 ◆親水広場等の維持管理・運営手法の検討 ◆冬のアクティビティ利用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・親水広場等を活用したイベント等の検討を行う →モニターツアーの継続について、課題等を整理する ・親水広場整備後の事業遂行に向けた、持続的な維持管理・運営手法の検討を行う →親水広場の利活用方法、維持管理ルールについて検討する ・冬期間の駅南を活用した取組の検討を行う →冬のレンタル事業の周知を行う
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育機関との連携 ◆水辺事業の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川市立大学と連携し、学生の参画を目指す →事業への参画に向けて、引き続き連携を図る ・水辺空間を教育の場として活用してもらうため、教育機関への効果的な情報提供について検討する →環境・教育分科会で検討を行う ・まちなかキャンパス等における、学生による水辺事業の紹介について検討する →谷口ゼミがモニターツアーに参加

令和7年度における重点的な活動方針(2)

項目	概要	対応
ICT等を活用した情報提供	◆「かわ」に関する積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺のイベント等情報をSNSで積極的に発信する →かわまちづくり計画のHP及び市SNSにて発信 ・デジタルサイネージを活用した事業の周知を行う →デジタルサイネージを取得済
水辺利用のルール	◆水辺施設における運用ルールの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺で行うアクティビティ等の運用ルールの策定について検討する →親水施設設計後に具体化できるため、次年度以降に検討
施設設計	<ul style="list-style-type: none"> ◆親水広場の設計 ◆橋梁表示の設計 ◆案内標識の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・神楽岡公園・旭川駅南口の親水広場設計について協議を継続し、基本方針の合意を目指す →神楽岡公園の合意 ・橋梁表示の表示方法や位置等について協議し、基本方針の合意を図る →アクティビティ分科会にて方針を決定する ・案内標識の機能やデザインについて検討する →サイクリング分科会にて検討中
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな担い手の確保・育成 ◆横の繋がりを意識した活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等との連携による若い世代の巻き込みを図る →環境・教育分科会で検討を行う ・各種イベントにおいてかわまち情報を掲示する →かわまちフェスにて掲示 ・各組織のアカウントで他組織の事業を紹介する →ニュースレターにて依頼

(5) 今後のスケジュール

今年度のスケジュール(案)

月	「旭川駅周辺かわまちづくり計画」推進WG	
	利活用	施設整備
4月		
5月		
6月		現地確認（ツインハープ橋上流・神楽岡公園整備予定箇所）
	第6回推進WG（当該年度の活動内容共有（ハード整備も含む）、意見交換）	
7月		
8月		
9月		第1回環境・施設設計分科会
10月		第1回サイクリング分科会（試走会（路面表示箇所確認））
11月	第2回サイクリング分科会	
12月		第2回環境・施設設計分科会
1月	第7回推進WG（当該年度の活動内容共有（ハード整備も含む）、意見交換）	
2月	第1回アクティビティ分科会 第3回サイクリング分科会	
3月		第3回環境・施設設計分科会
	第8回推進WG（当該年度の活動実施内容共有、次年度の活動内容共有、推進方針の点検等）	